



Title	目で見るWHO 第46号 目次等
Author(s)	関, 淳一
Citation	目で見るWHO. 2011, 46, p. 1-1
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/86775
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

日本WHO協会とは

社団法人日本WHO協会は、世界保健機関（WHO）憲章の精神を普及徹底し、その目的達成に協力し、我が国及び海外諸国の人々の健康増進に寄与することを目的として設立された団体です。設立より半世紀近く、関西を拠点にグローバルな視野から国内外の人々の健康を考え、行動しており、今後も積極的に目的達成のため活動していきます。

- (1) WHO憲章精神を普及するための健康に関するセミナー等の開催及び機関誌・広報等の啓発事業
- (2) 健康に関する調査研究の受託・斡旋・委託及び助成並びに研究成果に基づく提言等の研究事業
- (3) 国内外で健康に関する社会貢献活動を行う企業、団体並びに個人との連絡・調整・協力等の連携事業
- (4) WHOの事業目的達成に寄与するための募金活動及び募金収益の拠出並びに活動協力等の支援事業
- (5) 国内外の健康の向上につながる人材の育成・援助等の人材開発事業
- (6) その他本協会の目的達成に必要な事業

C O N T E N T

ごあいさつ	1
震災特集	
東日本大震災で被災した方々の健康を守る	中村 安秀 ... 2
東日本大震災対応で初動させたJMAT (Japan Medical Association Team)	石井 正三 ... 10
「東日本大震災におけるAMDAの活動」 ～宮城県・岩手県からの報告～	菅波 茂 ... 12
「東日本大震災におけるHuMAの活動」 ～宮城県南三陸町からの報告～	杉本 勝彦 ... 14
東日本大震災におけるユニセフの日本支援	安田 直史 ... 19
日本ユニセフ協会による 東日本大震災支援活動に携わって	西原 三佳 ... 21
支援の言葉にかえて	マイケル・ライシュ ... 24
東日本大震災への支援活動報告	27
セミナーのご案内	28
(社)日本WHO協会の沿革	31
WHO憲章	32
44～45号のあらまし・事務局だより	33

ごあいさつ



社団法人 日本 WHO 協会
理事長 関 淳一

2011年3月11日に東日本大震災が発生してから、早くも2ヶ月が過ぎました。しかし、今日尚、マスメディアの記事は、震災に関する報道が大部分を占めております。

被災地の方々が直面しておられる様々な困難や、御一人御一人の心の中での悲しみ苦悩などは、非被災地に居り、直接被害を受けていない私達には、到底測り知れないものと思われます。

しかし、被災地からの記事等を目にする度に、本当に胸が痛みます。

一方で、国内外の多くの方々の支援の気持ちが被災地の方々の心に伝わったと感じられる報道に接した時には、何とも言えない温かい気持ちがかみ上げて来るのを感じます。

今回の「目で見えるWHO」は、はからずも東日本大震災の特集号の形となりました。国際医療を専門とされており、今回の震災でも実際に現地での支援活動に携われた、中村安秀理事（大阪大学大学院人間科学研究科教授）が全体構成から執筆依頼まで全てを引き受けて下さいました。お陰で、全ての記事が実際に被災地に入り、様々な形で支援活動をされた方々の体験に基づく記録集的なものとなりました。これらの記事は必ず、記録として後に残るものと思います。

また、今回の大震災では、特に海外からの大きな支援の力を強く感じました。外務省の集計では、個人や民間団体を除いても、5月10日現在で146の国・地域と39機関から支援（人的支援、物質支援・寄付金）の申し出があり、その大部分が既に被災地に受け入れられているとのことです。（外務省：諸外国等からの物資支援・寄付金一覧より<http://www.mofa.go.jp/mofaj/saigai/pdfs/bussisien.pdf>）

グローバル化の時代とは言え、情報伝達の速さもさることながら、世界の多くの国々の人々の思いと、素早い行動を目の当りにする時、実感として、地球上に住む我々は、どこに居ようが、やはり人間同士だと強く感じます。

今回、原稿をお寄せ下さった方々は本当に睡眠をとる時間もままならない活動のさ中に、原稿を書いて下さいました。ここに改めて、厚く御礼を申し上げます。

最後に被災地の一日も早い復興をお祈りいたします。

2011年5月